

動く川に“ざわめく自然”は宿る

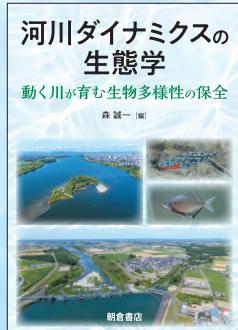
2025年
6月刊行!

河川ダイナミクスの生態学



動く川が育む生物多様性の保全

森 誠一 [編]



生態学・河川工学の研究者と

河川行政などの実務家の共同研究の成果から、
今後の河川との付き合い方のヒントを示す

A5判／216ページ
978-4-254-18067-1 C3040



●編集者

森 誠一 岐阜協立大学地域創生研究所

●執筆者

角 哲也 京都大学防災研究所

森 照貴 自然共生研究センター

永山滋也 長野大学

森 誠一 岐阜協立大学地域創生研究所

山崎裕治 富山大学学術研究部理学系

池谷幸樹 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ

北村淳一 三重県総合博物館

大貫溪介 国立遺伝学研究所

渡辺勝敏 京都大学大学院理学研究科

田代 喬 名古屋大学減災連携研究センター

鷲見哲也 大同大学建築学部

陀安一郎 総合地球環境学研究所

宇治 純 株式会社日吉 分析検査部

根岸淳二郎 北海道大学大学院地球環境科学研究院

米倉竜次 岐阜県水産研究所

板垣 修 つくば中央研究所

伊藤祐輔 岐阜県県土整備部

藤田朝彦 環境省関東地方環境事務所

●目次

第1章 河川の人為下における自然史

- 1.1 流水系と流砂系としての河川：流域治水を視野に
1.2 流域の特性から捉える木曽三川の自然史
コラム1 長江と湖沼の魚たち
1.3 気候変動による河川生態系への影響
1.4 沼澤原に依存する魚類における集団サイズの変動

第2章 沼澤原環境と生物： 変動の水環境

- 2.1 沼澤原環境の変遷とワンドの寿命
2.2 沼澤原水域に適応したタナゴ亜科魚類と現在の生息地
コラム2 アマゾン川 沼澤原と“果実食性の魚”
2.3 河道内沼澤原における生物の交流
2.4 全ゲノム集団解析に基づく沼澤原性淡水魚イタセンバラの自然史
2.5 ケレッブ水制と生物群集：人工構造物が生物生息場をもたらす
コラム3 ヌートリアの二枚貝食害：悩ましい脅威の話

第3章 湧水環境と生物： 動的安定の水環境

- 3.1 湧水河川の水文学的挙動と湧水魚ハリヨの生活史
コラム4 河川水の「違い」を見分けるストロンチウム同位体比

3.2 河道水系網の変遷：堆積物と文献・史料から分析する

3.3 湧水生態系における生物多様性：湧水の多面的機能と機構

コラム5 湧水が育む生態的機能の話

3.4 湧水生態系における生物多様性研究実践
コラム6 砂漠の魚 Desert Pupfish (*Cyprinodon*)

第4章 ざわめく自然の再生

- 4.1 河川管理事業と循環的沼澤原再生
コラム7 湧水域復活とトゲウオ保全の話
4.2 岐阜県における生態系ネットワーク事業“セクションализムを越えた行政連携”と“科学と施策の融合”
4.3 環境改善としての河川整備事業～河道の二極化対策の取り組み～
4.4 水系の連続性 堤と魚道：魚道カルテ
コラム8 外来種問題の行く末

